

津軽家歴代藩主<参考資料>

*諸説があり不確実なところもありますが、歴代藩主を整理するための参考資料としてお使いください。

藩主名	出自 正室	没年	藩主在任期間 家督相続年齢（在任年数）	交代理由 墓所	主な冠位	石高	徳川家 将軍
津軽為信 (初代藩主) 1550.1.1~1607.12.5 藩祖・髭殿、英知の良将 表裏仁(油断のならない)	1550(天文19)年1月1日:平蔵(扇)誕生 *久慈説と武田説あるが、久慈治義2男説が有力 1590(天正18)年:秀吉から津軽三郡の領有(4万5千石)が認められ、津軽氏と改称 1601(慶長6)年:関ヶ原の戦いの功により2千石加増 ↑ 津軽姓の書状が登場するのは翌年から ▽正室:阿保良姫/戌姫/お福(仙桃院/仙洞院) 大浦為則の2女	1607(慶長12)年 12月5日 享年58歳	1590(天正18).3月~1607(慶長12).12月 *在任は、津軽三郡の領知からとした 1567(永禄10):大浦為則の婿養子となり、大浦城主となる。 *結婚の翌月、為則没 41歳(約18年)	京都で没 革秀寺(開基) 高照神社に合祀	右京亮(従五位下) 右京大夫(従四位下)	4万5千石 →4万7千石	豊臣秀吉 初代・家康 2代・秀忠
#1607(慶長12)に幕命により信枚が一旦家督を継ぐが、津軽大熊事件(津軽騒動) [大光寺城主・津軽左馬助建広(為信の2女?・富姫の婿)が信建(為信の長男)の長男・大熊/熊千代を担ぎ出す跡目騒動)が発生し、その裁定が下ったのは1609(慶長14)1月							
津軽信枚 (2代藩主) 1586.3.21~1631.1.14 越中守様	1586(天正14)年3月21日:平蔵(岩麿/信繁/信長/信虎)、赤石城で誕生 ◇信枚ともいう *3男〔側室:榮源院(白取伊右衛門の妹)の子〕 ↓ 満天姫の輿入れまでは辰姫が正室扱い ▽正室:満天姫(葉縦院) 徳川家康の養女(下総国関宿城主・松平康元の3女)	1631(寛永8)年 1月14日 享年46歳	1607(慶長12).12月~1631(寛永8).1月 22歳(約25年) 浅草の常福寺(のちに津梁院)に埋葬 ⇒	江戸で没 上野津梁院(開基) 長勝寺	越中守(従五位下)	4万7千石	2代・秀忠 3代・家光
津軽信義 (3代藩主) 1619.1.1~1655.11.25 ジョツバリ殿様	1619(元和5)年1月1日:平蔵(信吉)、上野国大館(弘前藩の飛び領地/旧・群馬県尾島町)で誕生 *長男〔側室:辰姫/曾野(莊嚴院/石田三成3女/豊臣秀吉の正妻・高台院の養女)の子〕 ▽正室:富宇姫(慶林院) 小諸藩主・松平康久の娘←満天姫の姪に当たる	1655(明暦元)年 11月25日 享年37歳	1631(寛永8).4月~1655(明暦元).11月 13歳(約25年) 報恩寺は、信義が開基し、信政が建立 ⇒	江戸で没 報恩寺、長勝寺 津梁院、妙寿院	土佐守(従五位下)	4万7千石 *内高:10万2千石余り	3代・家光 4代・家綱
津軽信政 (4代藩主) 1646.7.18~1710.10.18 中興の祖、元禄大名七人傑	1646(正保3)年7月18日:平蔵、弘前城で誕生 1656(明暦2)年:津軽信英に5千石を内分分知 *長男〔側室:与曾(久祥院/菊御前/添田貞成の養女・唐牛甚左衛門の娘)の子〕 ▽正室:不卵姫(涼松院) 伊勢長島藩主・増山正利の娘←4代将軍・家綱のいとこに当たる	1710(宝永7)年 10月18日 享年65歳	1656(明暦2).2月~1710(宝永7).10月 11歳(約55年)	弘前城で没 高照神社、報恩寺	越中守(従五位下)	4万7千石 → 4万6千石 黒石家分家断絶のため1千石減封 *内高:26万1千石余り	4代・家綱 ~6代・家宣
津軽信寿 (5代藩主) 1669.5.24~1746.1.19 福殿様・道楽殿様	1669(寛文9)年5月24日:平蔵/竹千代(信重)、江戸で誕生 *2男〔正室:不卵姫(涼松院)の子〕 ▽正室:曾野姫(法雲院) 桑名藩主・松平忠弘の娘/小幡藩主・松平忠尚の養女	1746(延享3)年 1月19日 享年78歳	1710(宝永7).12月~1731(享保16).5月 42歳(約22年)	隠居(江戸で没) 津梁院、報恩寺	出羽守→土佐守(従五位下)	4万6千石	6代・家宣 ~8代・吉宗
津軽信著 (6代藩主) 1719.2.27~1744.5.25 傀儡藩主	1719(享保4)年2月27日:勝千代、江戸で誕生 *信寿の孫〔信興(信寿の長男)の長男/信興の正室:綱姫(梅応院/近衛家瀨の養女)の子〕 ▽正室:美知姫/道姫(浄心院) 久留米藩主・有馬則維の3女 ↑ 大納言・醍醐冬基の娘	1744(延享元)年 5月25日 享年26歳	1731(享保16).5月~1744(延享元).5月 13歳(約14年) 遺言で長勝寺に埋葬、その後報恩寺に ⇒	弘前城で没 長勝寺、報恩寺 津梁院	出羽守(従五位下)	4万6千石	8代・吉宗
津軽信寧 (7代藩主) 1739.2.27~1784.潤1.2	1739(元文4)年2月27日:岩(磐)松、弘前で誕生 *長男〔側室:縫(円寿院/田中一有の娘)の子〕 ▽正室:章姫(貞寿院/真寿院) 白河藩主(越前松平家)・松平明矩の娘	1784(天明4)年 潤1月2日 享年46歳	1744(延享元).8月~1784(天明4).閏1月 6歳(約41年)	江戸で没 津梁院	出羽守→越中守(従五位下)	4万6千石	8代・吉宗 ~10代・家治
津軽信明 (8代藩主) 1762.6.22~1791.6.22 不出生の名君	1762(宝暦12)年6月22日:松五郎(熊五郎)、弘前で誕生 ◇信明(のぶあきら)ともいう *長男〔側室:歌木/歌喜(妙詮院/用人・安西助市叔母)の子〕 ▽正室:喜佐姫(瑤池院) 川越藩主・松平朝矩(明矩の長男)の娘	1791(寛政3)年 6月22日 享年30歳	1784(天明4).2月~1791(寛政3).6月 23歳(約8年)	江戸で没 津梁院	土佐守(従五位下)	4万6千石 *内高:32万1千石余り	10代・家治 11代・家斉
津軽寧親 (9代藩主) 1765.1.17~1833.6.14 蛇殿様・派手・見栄っ張り	1765(明和2)年1月17日:和三郎(征方)、江戸で誕生 *1761(宝暦11)年の出生説もある *黒石津軽家5代当主・津軽著高の長男〔正室:黒田直純(上総国久留米藩主)の娘・古満姫の子〕 ▽正妻:稲(伊弉)姫(恵心院) 旗本・杉浦正勝の娘 *福姫説は誤り #1805(文化2):7万石に高直り、1808(文化5):10万石に高直り	1833(天保4)年 6月14日 享年69歳	1791(寛政3).8月~1825(文政8).4月 27歳(約35年)	隠居(江戸で没) 津梁院	出羽守(従五位下) →越中守→侍従 →右京大夫(従四位下)	4万6千石 → 7万石 → 10万石 (東蝦夷警備の勤功により2度高直り) 津軽親足に6千石分知し、1万石に昇格 ↑ 黒石藩誕生	11代・家斉
津軽信順 (10代藩主) 1800.3.25~1862.10.14 夜鷹殿様	1800(寛政12)年3月25日:雅之助、江戸で誕生 *2男〔側室:伊藤英保の娘・其衛(光円院)の子〕 ▽正室:公卿・近衛基前の娘 ◇愛妾・増衛を江戸“増衛御殿”に置き、足しげく通ったという *正室が逝去し、田丸徳川家・徳川斉匡(将軍・家斉の弟)の娘・鋭(英)姫と婚約するも急逝、その後 鋭姫の妹・欽姫改め金姫(仙桜院)を正室に迎える	1862(文久2)年 10月14日 享年63歳	1825(文政8).4月~1839(天保10).5月 26歳(約15年)	隠居(江戸で没) 津梁院	大隅守(従五位下) 越中守→侍従 →出羽守(従四位下)	10万石	11代・家斉 12代・家慶
津軽順承 (11代藩主) 1800.1.13~1865.2.5	1800(寛政12)年1月13日:新之助(信寛/邦足/順徳)、江戸で誕生 *黒石藩初代藩主・津軽親足の養子〔三河吉田藩主・松平信明の3男?/信明の側室:恵覚院の子〕 ▽正室:泉姫(彰真院/彰信院) 上総国五井藩主・有馬久保の娘 ↑ 松平信明の5男とも	1865(元治2)年 2月5日 享年66歳	1839(天保10).5月~1859(安政6).2月 40歳(約21年)	隠居(江戸で没) 津梁院	左近将監 大隅守(従五位下)→越中守 →侍従→和泉守(従四位下)	10万石	12代・家慶 ~14代・家茂
津軽承昭 (12代藩主) 1840.8.12~1916.7.19	1840(天保11)年8月12日:寛五郎(護明/承烈)、江戸で誕生 *熊本藩主・細川斉護の4男〔斉護の側室:青木甚之助の娘・楽子(羅久)の子〕 ▽正室:玉姫/常姫(明光院)〔順承の4女/側室:清瀬(諦信院)の子〕逝去、その後 信君/尹子(眞信院)〔公卿・近衛忠熙の娘〕を正室に迎える *13代当主・英麿は承昭の養子〔尹子の甥〕	1916(大正5)年 7月19日 享年77歳	1859(安政6).2月~1871(明治4).7月 20歳(約13年) *在任は、廃藩置県までとした	廃藩置県(江戸で没) 東京の谷中墓地	土佐守→越中守 →侍従(従四位下) 左近衛権少将→従一位	10万石 勤王の功により、永世1万石を賜る ← 奥州触頭 [1868(明治元)年]	14代・家茂 15代・慶喜

参考文献:弘前市史(藩政編)、新編弘前市史、青森県人名事典(東奥日報社)、津軽史事典(弘前大学国史研究会編)、弘前藩(長谷川成一)ほか